

議案第20号 平成20年度神崎市一般会計予算 に対する討論

反対討論 (佐藤議員)

平成20年度の予算を見てみると、民生費の予算は3億1,300万円の増額になっています。高齢者福祉費の寝たきり老人等介護者手当支給事業について、現行の5千円の支給を1万円に引き上げたことなど、一部評価できますが、高齢者福祉費の1億1,925万6千円の増額も、その多くが後期高齢者医療にかかわる繰出金が占めています。生きがい活動支援通所事業委託料は、前年比900万円の増額ですが、利用者負担金が300円引き上げになっており、わずかな金額とはいえ、住民負担増の予算編成になっています。障害者福祉費についても、4,877万1千円の増額となっていますが、国の制度、政策にかかわる予算編成であり、市民が求める市独自の福祉施策の予算編成は見ることができません。

教育費については、5,840万5千円の増額予算となっていますが、神崎小学校の耐震補強工事費の支出であり、中学校においては体育館解体工事、浄化槽の工事費による増額です。学校現場が望んでいる備品購入費は、学校管理費、教育振興費で総額126万円の減額であります。

執行部は、事あるごとに財政が厳しいことを強調されますが、今年度の当初予算で121億円の予算があり、市民が元気を持つことができるような暮らし、福祉、教育の予算に充当すべきであります。

以上を述べて平成20年度当初予算への反対討論といたします。

賛成討論 (角田議員)

平成20年度当初予算は、121億3,200万円。

前年度と比較すると、6億6,000万円(5.7%)増で、積極型の攻めの予算を提案したことに、賛同の意を表したいと思います。

特徴として、元気神崎市の歩みをさらに確実にし、市民の期待に応えられるように、限られた財源の中で、効率的な予算が編成されていることです。

主な事業は、市道国営西1号線改良事業です。これは神崎町小津ヶ里と国営千代田西1号線の整備事業です。神崎市は、南は有明海、北は脊振山まで南北に細長く自然環境に恵まれ、地の利は大であり、市政発展のためにも最も大事な事業であります。

第2は企業誘致対策事業であります。

神崎市の発展の為には基幹産業である農業の振興と併せて、商工業の活性化を図ることが必要です。若者が神崎市に定住するためには、仕事の間が必要不可欠な条件です。そのためには、企業誘致に積極的に取り組むことが必要です。

以上、市政の活性化と市民の福祉向上に努めている姿勢が現れている本予算への賛成討論といたします。



千代田西一号線道路改良事業